

NEWS RELEASE

令和元年8月7日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

広報室

パンフレット発行のご案内

『子どもたちの、スポーツするアタマ・ココロ・カラダ・カカワリを育てよう!』

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）は、子ども期のスポーツ教育に関するパンフレット『子どもたちの、スポーツするアタマ・ココロ・カラダ・カカワリを育てよう!』を発行いたしました。

本パンフレットは昨年度実施したオンラインパネル調査「子どものフィジカルリテラシー習得に関する家庭環境調査（2018）」の結果を元に、保護者・自治体スポーツ関係者・スポーツクラブ等の企画運営者に意識してほしいポイントや提案を記載したパンフレットとなっています。

今後はJSCが主催する自治体関係者向けセミナー等において資料として活用するとともに、子どものスポーツに関するイベントや会議で配布します。また、JSCウェブサイトへの掲載を行っています。

なお、今年度JSCは、本パンフレットで提案している方針に沿って、地域で実証的にプロジェクトを進めていく予定です。

＜パンフレット概要＞

タイトル：子どもたちの、スポーツするアタマ・ココロ・カラダ・カカワリを育てよう！

発行年月：2019年3月 ページ数：8ページ

主な提案内容：本パンフレットではフィジカルリテラシーという概念を導入しています。フィジカルリテラシーでは生涯にわたるスポーツ参画を通じ、心身ともに健康で幸福な社会生活を営む上で持っておくべき基礎的素養として以下の4つをあげています。

アタマ（認知） スポーツに関する知識や理解

ココロ（心理） 意欲や動機

カラダ（身体） 基礎的動作

カカワリ（社会性） スポーツを通じた人とのつながりや関わり

上記4要素を念頭にアンケート調査と分析を行い、子ども期のスポーツ活動に関する提案を記載しています。詳細はウェブでご確認ください。※リリース別紙として冒頭2ページを添付

[『子どもたちの、スポーツするアタマ・ココロ・カラダ・カカワリを育てよう!』](#)https://www.jpnsport.go.jp/corp/Portals/0/joukoku/jsc_insight_kodomo_1903brochure.pdf

子どもたちの、スポーツする

アタマ

ココロ

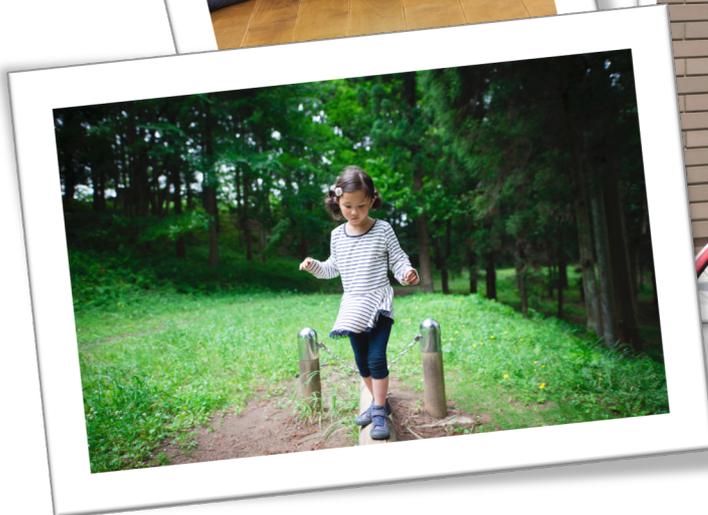
カラダ

カカワリ

を育てよう！

子どものフィジカルリテラシー習得に関する

家庭環境調査（2018）



独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）



リテラシーとは、「読み書きそろばん」のように、社会でよりよく生きていくためには必須の能力であり、いまでは IT リテラシーやメディアリテラシーなど、様々な「リテラシー」が提起されています。どのようなリテラシーであれ、**生まれながらに自然に備わっているものではなく、良い指導によって育まれ、使いこなせるようになるもの**だと理解されています。

フィジカルリテラシーはその理論上、下図に示すように大きく 4 つの領域から成り立つとされ、我が国の幼児期運動指針ともなじみが良いものです。なかでも、走ったり、跳んだり、投げたりといった**基礎的な身体の動き（基礎的動作）**は、読み書き能力でいえば「**あいうえお**」に相当し、様々なスポーツに親しむために不可欠なもので、**プレ・ゴールデンエイジと呼ばれる未就学期にしか身につけることができません**。したがって子どもに運動に苦手意識を持たないようにするためには、この時期を逃さず、一人ひとりの身体的な機能や発達に合わせ、スキルや適性を伸ばしてあげることが重要です。

それ以外の認知・心理・社会性の 3 領域は、**年齢・性別や障害の有無を問わず、生涯を通じて養い続けるべきもの**とされています。カナダや豪州では、フィジカルリテラシーが全ての国民の生涯スポーツ参画の土台として位置付けられ、スポーツ・レジャー界だけでなく、教育、医療・公衆衛生、福祉、地域関係者などを巻き込んだ推進運動が始まっています。

(参考) スポーツ・オーストラリア (Sport Australia) ホームページ [英語]
https://www.sportaus.gov.au/physical_literacy

